

# シティプロモーション

## 官民連携で地域情報を発信 ——自治体プロモーション サイト「推しまち」——

北海道・十勝エリアと釧路エリアの自治体で、市町村ごとの魅力を紹介した自治体プロモーションサイトが開発されています。各自治体が地元企業と連携して開設したサイトで、観光スポットやイベント関連の情報を発信。



●自治体プロモーションサイト「推しまち！」  
<https://town.tonxton.com/>

地域の価値や魅力などを広く発信することで、移住や定住、交流や流入人口の拡大を図りつつ、地域経済の活性化を目指しています。

自治体プロモーションサイト「推しまち」を運営しているのは、印刷・広告業やホームページ制作などを手掛ける東洋株式会社（帯広市）で、同エリアのイベント情報などを発信するコミュニティサイトや、道内自治体が発行する広報紙などの冊子を電子ブック



上川郡清水町のページ

※「シティプロモーション」に関するさまざまな話題や情報を紹介します

作成しています。

そのほか、各ページでは、自治体の基本情報のほか、「酪農」や「林業」「まちづくり」や「グルメ」など、まちの特徴をとらえたコンテンツを設けており、その概要を知ることができるほか、リンクで関連サイトを案内しています。

例えば「浦幌町」では、「若者がアツい」と題し、若者が集まる要因として、町が官民協働で立ち上げた教育プログラム「うらほろスタイル」を紹介。関連プロジェクトを通じて、それぞれの分野で活躍する若者を紹介しています。

「沢尻栄一ゆかりの町」として紹介されているのは清水町。明治時代に清水町に十勝開墾合資会社を設立するなど、十勝清水町の礎を築き上げた沢尻と清水町の関係を紹介。それらを詳しく知ることができる町の郷土史料館を案内しています。

夏季・冬季ともに多くのアスリートがオリンピックに出場している幕別町のメインコンテンツは「オリンピック」。「アスリートが育つ」まちの魅力として、1年を通してスポーツに触れられる環境づくりやスポーツ施設のほか、オリンピックを招いた交流イベントなどを紹介しています。

芽室町では、「コーン×歴史」「コーン×観光」「コーン×グルメ」などのタイトルで、作付け面積と収穫量が日本一のとらえどころ（フアイト）コーンにちなんだ魅力を紹介しています。そのほか、「イベント情報」からは、

カレンダー形式に掲載された一覧の中からイベント情報を検索することができます。

「推しまち」では、今後、北海道内の他のエリアでも、同様の取り組みを展開していく予定です。

## 市制施行70周年で記念誌を 発行——草津市

滋賀県草津市は、市制施行70周年記念事業の一環として、「草津市市制施行70周年記念誌」を発行しました。10月12日に開催された70周年記念式典で配布するとともに、「広報くさつ」11月号の配布に併せて、記念誌の概要版を配布しました。



●草津市「草津市市制施行70周年記念誌」  
<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/koho/70thkinenshi.html>

で閲覧できる「北海道の広報まるごと検索くん」などを運営しています。「推しまち」は会社設立70周年事業の一環として制作したもので、同社が各自治体から監修を受け、運営しています。「推しまち」は現在制作中の帯広市を含め「十勝エリア」（19市町村）と現在展開中の「釧路エリア」（3町村）に分かれており、「PICKUP」おすすめの街」から閲覧したい市町村のサイトを選択して閲覧します。

「推しまち」のサイトは三つの考え方を柱として構成されています。一つは「推しまち」をさらに発展させ、次世代に継承していくため、市の取り組みや地域の名所、特産などを掲載。市民が草津市の魅力を再確認することで、草津市への親しみや愛着を醸成し、誰もが健康で暮らしやすいまちづくりへとつなげていきます。記念誌は市サイトでもPDFが公開されています。

記念誌の本編はA4判・59ページで2000部発行。概要版はA4判・8ページで6万5000部発行。掲載内容（本編）は、橋川渉市長と仲谷善雄・学校法人立命館総長、財剛啓・西日本旅客鉄道京滋社長らの3氏による記念鼎談「草津の未来へ向けて」のほか、「健康都市くさつ」「草津市が進める協働のまちづくり」「国指定史跡「草津川跡地公園」「草津を見る・遊ぶ・体験する！」「草津ブランド」「市民参加企画」「草津ってこんなまち」「テーマ」草津市70年のあゆみ」など。

記念誌のテーマは「つむぐ」。地域の絆を深める象徴になっているのが、市内七つの地域で行われる民俗芸能「サンヤレ踊り」。誌面では、それぞれの地域で踊りに携わる二人が、地域での違いや継承への思いなどを語っています。草津ブランドを紹介する名品図鑑では、草津市の花「あおばな」による青花紙づくりと、草津の郷土菓子として愛される「うばがもち」を取り上げ、製造技術の保存や栽培に取り組む人伝統の味を守り伝えている人などの声や思いを紹介。草津市で出会ったこれらの人たちがつながり、絆を紡いでい

目は「住民への発信」で、住民にとっての有益な情報を分かりやすく表現し、住みやすいまちとして住み続けてもらうためのコンテンツ。二つ目は「地域外への発信」で、地域外に対し、交流人口・関係人口からさらに移住、定住につながるよう、各自治体の魅力を発信していくためのコンテンツ。三つ目は「地域ブランディング」で、各自治体の数ある魅力の中から、より認知を広げていくべき地域資源を紹介したコンテンツ。これら三つの柱を各自治体のページに落とし込み、サイトを

くイメージを伝えていきます。そのほか、草津市にゆかりのある各界の著名人からのコメントを紹介するほか、草津市の小中学生20人による「わたしの夢」と草津市民50人による「草津市の好きなところ」「草津市への期待」などの声を掲載。さまざまな市民からのメッセージは、世代間のつながりを感じさせます。

また、まちづくりに関わる多くの人々が誌面に登場しているのも特徴です。誌面では、「こころ」育むまち」「笑顔」輝くまち」「書いし」支えるまち」「魅力」あふれるまち」と題し、人権やスポーツ、地域福祉や子育て、防災や環境、農林業や商工観光などの各施策の現状について、関係する市民の取り組みや声を交えながら紹介。草津市が進める「協働のまちづくり」が視覚的に分かるよう構成しています。

市の担当者は、「行政にありがちな硬い誌面ではなく、市民の方も読みやすく、一緒に70周年をお祝いできる冊子になった」と語っています。

## シティプロモーション冊子 を発行——本巢市

岐阜県本巢市は、市のさまざまな魅力を盛り込んだシティプロモーション冊子「本巢本」を制作し、発行しました。市の公共施設や市観光案内所、東京にある岐阜県のアンテナショップなどで配布するほか、市サイトでPDFファイルを公開しています。

今年10月に発行されたのは「本巢本」